(2) 分団活動推進部会

- ・ 調査結果を受けた全国の分団の活性化（麻生・竹前・加藤）（資料5）

活動委員会としては以下のことを提言したい。

- 活動報告を本部に毎月挙げていない分団についてはその報告をすることで全国のYAC活動が共有できるという趣旨を説明し、事務局から分団長に事情を聴きとり、活動報告を本部に毎月挙げるように促す。
- 長期間活動を休止している地方組織はその地方組織に所属している団員にとっても望ましい状況ではない。また、その地方に新たな分団を立ち上げたいという動きがある際には課題となる。そのため、5年以上活動を休止している分団は事務局から休止分団長及びその分団リーダーに事情を聞き取り、抹消を希望した分団は抹消手続きを出していただく。2年以内に活動を希望する分団があればその再開を見守るが、その後も再開にめどが立たないことが分かった時点で分団長に抹消手続きを出していただく。また、その分団の分団員はサテライト団員へ移行させる。
- YACが発足して30年以上経過しており、地方組織のそれぞれの構成メンバーに高齢化が進んでいると考えられる。このため、活動委員会としては、地方組織のそれぞれの構成メンバーに対して、若いメンバーを構成メンバーに積極的に勧誘するなどして持続可能な運営を心掛けていただきたい、というメッセージを伝達することとしたい。

追記：情報担当者が既に世代交代していることなどもあり、情報伝達ができていない他、そもそもログイン情報などがわからない、Web上でリーダー登録が正常に行われていないなど、入力出来ない状況があるようである。活動報告を行っていない分団に対して、改めて、その必要性を説明し、一連の流れを説明して入力していただくようお願いすることとしたい。